

2023年12月15日

鹿児島大学病院産科病棟 で

分娩し、産後、産科外来でフォローを受けた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

ハイリスクアプローチによるボンディング障害の要因探索研究

【研究の目的】

本研究では周産期にみられる生理的で一時的と思われるボンディング障害と病的なボンディング障害の質的な違い、要因を明らかにし、病的なボンディング障害を早期発見することを目的とします。

【研究の方法】

研究者又は分担者が既存のカルテ情報を用いて行い、対象者を抽出します。分析は鹿児島大学病院医学部保健学科内の研究施設で統計学的に分析を行います。情報は本研究の分析のためだけに利用され、他の施設へ情報を提供することはありません。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2026年3月31日

【対象となる患者さん】

2020年4月1日から2023年12月31日までに、鹿児島大学病院の産科外来に分娩目的で通院、または紹介され、鹿児島大学病院産科病棟で分娩し、産後を産科外来でフォローされていた女性を対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

年齢、婚姻状態、初経産、分娩様式、NICU入室の有無、家族人数、産科疾患、精神科疾患合併の有無、社会的ハイリスクの有無、産後2週間、産後1カ月のエジンバラ産後うつ病質問票(EPDS)、赤ちゃんへの気持ち質問票(MIBS)についてカルテから収集させていただきます。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学病院産科病棟・産科外来

若松 美貴代

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 橋口 照人

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、公的研究費（科学研究費）で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

鹿児島大学 医歯学域医学系

役職 准教授 氏名 若松 美貴代

電話 099-275-6790 FAX 099-275-6750

E-mail mikiwaka@health.nop.kagoshima-u.ac.jp